

総務局 令和3年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

「個性を活かし自立した地方をつくる」という地方分権改革の理念のもと、基礎自治体である市町村、特に地域をけん引する責任を負う政令指定都市には、地域の課題、実情に即した主体的な取組が強く求められています。

さらに、危機管理体制の整備を担う総務局として、市民の安全・安心を守るため、災害への備えや新型コロナウイルス感染症をはじめとした危機事案への迅速、的確な対応が強く求められています。

また、地方自治法に従い、住民の福祉の増進に努め、最少の経費で最大の効果を挙げるべく、常に組織及び行政運営の合理化を図っていくとともに、事務の適正性を確保していくことも求められています。

こうしたことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、自然災害も相次いでおり、災害や危機事案に対応できる体制を整備することは、行政に期待される最も重要な役割の一つです。

また、組織・人事・法規など、行政組織の根幹を支えることを主務とする総務局においては、より多くの市民が住みやすいと感じる都市の実現に向けて、簡素で効率的な組織体制の整備を進め、最適な人員構成を構築するとともに、職員のコンプライアンス意識の向上と内部統制制度の円滑な運用、市政情報の「見える化」を推進する必要があります。

加えて、市制施行から20周年を迎えるにあたり、本市のさらなる発展へ向け、これまでの本市の歩みを振り返るとともに、さいたま市の発展を内外にアピールする必要があります。

このほか、新たな視点で市史を編さんし、地域の歴史や特性等に関する情報を内外に発信していくことや、世界の恒久平和実現に向けた意識の高揚といった取組についても、継続的に実施していくことが必要です。

(1) 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進

自然災害や新型コロナウイルス感染症、東京2020大会に対する大規模テロなど、様々な危機事案に対し、危機発生時の初動対応を迅速かつ的確に実施するための体制を構築することが必要です。

自然災害時に市民が適切な行動をとり、また市民の生命を最大限守るため、情報伝達手段の確保や避難所における物資備蓄等をはじめとした対策に加え、防災訓練を通じた連携体制等の確認、防災知識の普及・啓発、自主防災組織活動の活性化による防災体制の確保、地域防災力向上に引き続き取り組む必要があります。

加えて、市民の事故やケガの効果的な予防のため、市民・企業・行政等で協働し、データに基づいた予防活動の推進が求められています。



さいたま市新型コロナウイルス危機対策本部員会議の様子



総合防災訓練の様子

(2) 職員の育成と働く環境の整備

組織力の向上を図るため、職員の成長を支援する研修を実施するとともに、ワークライフバランスを考慮した職場環境を整備するなど、社会情勢の変化に応じた人事諸制度を構築し、公務能率の向上と職員の健康を保持することが求められています。

また、簡素で効率的な行政体制の整備を進めるため、行財政改革の取組を反映しつつ、総人件費の抑制に配慮して、業務量に応じた適正な定員管理を行う必要があります。

(3) 市民に信頼される開かれた行政運営

公正な職務執行と適正な行政運営を確保するため、職員のコンプライアンス意識の維持・向上と不祥事を起こさせない職場風土の醸成及び内部統制制度の円滑な運用が求められます。

また、公正で開かれた市政の実現のためには、市政情報を市民に分かりやすく提供し、情報の共有化を図る必要があります。

加えて、市政情報の「見える化」を推進するため、情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用が求められます。

令和元年度行政情報開示請求件数・処理件数

請求件数	処理件数	処理状況		
		開示	一部開示	不開示
770	727	411	279	37

令和元年度個人情報開示請求件数・処理件数

請求件数	処理件数	処理状況		
		開示	一部開示	不開示
375	369	253	83	33

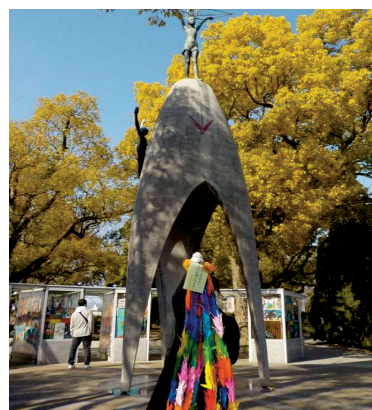
※令和元年度は個人情報の訂正請求、削除請求、利用の停止請求、提供の停止請求はありませんでした。

(4) 新たな視点で市史を編さん

本市に関する古文書や行政文書、写真、刊行物等の膨大な量の歴史資料を収集、保存する一方で、本市の歴史的変遷の過程を記録し、未来へ継承するための取組が求められています。このため、市民文化の向上に寄与することを目的とし、地域の歴史や特性等に関する情報を発信し、本市に対する関心と愛着を育むことのできる市史を編さんすることが必要です。

(5) 世界の恒久平和の実現に向けた意識の高揚

終戦から七十数年の歳月を経て、戦争を体験していない世代が大半となり、記憶の風化が強く懸念されています。平和な世界を未来につないでいくために、平成17年に平和都市宣言を行った本市は、わが国を代表する都市の一つとして、平和の尊さや大切さを市内外へ発信するとともに、次代を担う子ども達に、戦争の歴史や世界の現実を学び、考えるきっかけを与えることが求められています。



広島市「原爆の子の像」へ送った折り鶴

2. 基本方針・区分別主要事業

危機管理体制の充実を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進します。

また、社会情勢の変化に対応した人事諸制度を構築し、職員の人材育成と意識改革を図り、働きやすい職場環境づくりを推進することにより、公務能率を高めるとともに、適正な定員管理を通じて、簡素で効率的な行政体制の整備を目指し、市民サービスのより一層の向上を図ります。

さらに、市民に信頼される行政運営を行うため、職員のコンプライアンス意識の向上と内部統制制度の円滑な運用、市民の目線に立った情報公開を総合的に推進します。

加えて、市制施行から20周年を迎えることを記念し、記念式典を開催します。

また、本市の歴史的変遷の過程を記録し、未来へ継承するため、市史を編さんするとともに、世界の恒久平和実現に向けた意識の高揚に継続的に取り組みます。

(1) 安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
1	総振	危機発生時の初動体制の確保 〔危機管理課〕	6,569 (6,569)	5,396 (5,396)	東京2020大会での大規模テロやその他事案に対して、24時間初動体制を取れるよう待機宿舎、宿日直及び連絡体制を確保・維持	90
2	新規 総振	防災アプリ構築事業 〔防災課〕	17,226 (17,226)	0 (0)	平常時からの防災啓発及び災害時の防災情報の的確な伝達等による円滑な避難等を目的に新たにスマートフォンアプリを構築	91
3	総振	自主防災組織育成事業 〔防災課〕	130,106 (130,106)	135,601 (135,601)	災害時に地域住民が団結して地域を守る自主防災組織の結成及び育成強化を図るため、補助金の交付及び防災アドバイザーを派遣	92
4	総振	セーフコミュニティの推進 〔危機管理課〕	4,913 (4,913)	6,811 (6,811)	WHOが推奨するセーフコミュニティにおいて、各対策委員会が、救急搬送データ等、各種データに基づいた取組を実施	90

(2) 職員の育成と働く環境の整備を行います。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
5		人事評価事業 〔人事課〕	13,669 (13,669)	14,671 (14,671)	職員が職務を通じて発揮した能力や意欲・態度・業績を的確に把握し、適正に評価する人事評価制度により、職員のやる気と満足度を高め、複雑化、多様化、高度化する行政需要に対応できる人材を育成	85
6	総振	庶務事務のシステム化の推進 〔人事課〕	176,198 (176,198)	231,128 (231,128)	全庁的に共通する庶務事務を効果的・効率的に処理するため、ICTを活用した庶務事務のシステム化を推進	85

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
7		職員安全衛生管理事業 〔職員課〕	158,642 (158,023)	157,257 (157,047)	職員の労働安全衛生と健康確保のための事業を実施	85
8		職員福利厚生事業 〔職員課〕	14,280 (0)	3,888 (0)	職員の元気回復を図り、公務能率を増進するための事業を実施	87
9	総振	職員研修事業 〔人材育成課〕	23,737 (23,517)	23,332 (23,202)	自治体を取り巻く様々な環境の変化や直面する行政課題に対応できるよう職員の育成を図るため、基本研修等を実施	87
10		人事管理事業 〔人事課〕	204,603 (185,245)	191,227 (160,964)	適正な人事管理を行うためのシステムの運用や人事・給与・福利厚生に関する事務を行う総務事務センターを運営	85
11		給与管理事業 〔職員課〕	1,970 (1,970)	2,218 (2,218)	本市人事委員会勧告等を考慮し、適正な給与制度を構築するとともに、効率的かつ正確な支給を実施	86

(3) 市民に信頼される開かれた行政運営を行います。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
12	総振	内部統制推進事業 〔法務・コンプライアンス課〕	1,132 (1,132)	3,095 (3,095)	各局・区における職員のコンプライアンス意識の維持・向上に向けた取組を支援するとともに、内部統制制度を推進	81
13		情報公開制度推進事業 〔行政透明推進課〕	17,180 (12,862)	17,231 (12,913)	情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用を図り、公正で開かれた市政運営のため、市政情報の「見える化」を推進	89

(4) 新たな視点で市史を編さんします。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
14	総振	市史編さん事業 〔アーカイブズセンター〕	57,468 (57,267)	55,856 (55,655)	本市の歴史的変遷の過程を記録し、未来へ継承するため、「(仮称)さいたま市史民俗編(信仰)」及び「さいたま市アーカイブズセンター紀要」を刊行	89

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

(5) 世界の恒久平和の実現に向けて意識の高揚を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
15	総振	平和推進事業 〔総務課〕	2,331 (2,331)	2,331 (2,331)	さいたま市平和展、さいたま市平和図画・ポスターコンクール等の開催	80

(6) 市制施行20周年を記念して、式典を開催します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
16	新規	20周年記念式典の開催 〔総務課〕	15,068 (0)	0 (0)	平成13年5月1日のさいたま市市制施行から20年を迎えることを記念し、さいたま市の発展を内外にアピールするとともに、今後の一層の発展を誓うため、式典を開催	80

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容	コスト削減額
総務課	消耗品費の見直し	過去の消耗品の購入状況や利用状況を踏まえ、消耗品の予算額を縮小する。	△ 136
アーカイブズセンター	印刷物の見直し	新聞記事目録について精査し、冊子ではなくデータで提供することにより、予算額を縮小する。	△ 132
アーカイブズセンター	消耗品費の見直し	消耗品費について、購入方法や購入量を見直し、予算額を縮小する。	△ 110
行政透明推進課	審査会及び審議会のテープ翻訳業務の見直し	過去の実績から、審査会及び審議会の開催時間を見直したことにより、テープ翻訳業務委託料の予算額を縮小する。	△ 72
人事課	旅費の見直し	前年度の実績を踏まえ、旅費の見直しを行い、予算額を縮小する。	△ 737
人事課	消耗品費の見直し	徽章について、在庫数量から購入数を見直し、予算額を縮小する。	△ 13
人事課	印刷製本費の見直し	イクボス宣言の実施方法を見直すことから、啓発ステッカーの作成を見送り、予算計上を廃止する。	△ 39
人事課	委託料の見直し	職員証用顔写真の撮影にWEBアプリケーションを導入することにより、予算額を縮小する。	△ 234
職員課	給与管理事業における消耗品費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 14
危機管理課	セーフコミュニティの推進の報償費の見直し	委員会等の開催回数減に伴う報償費の予算額を縮小する。	△ 353
危機管理課	セーフコミュニティの推進の消耗品費の見直し	委員会等の開催回数減に伴う消耗品費の予算額を縮小する。	△ 390
危機管理課	セーフコミュニティの推進の印刷製本費の見直し	委員会等の開催回数減に伴う印刷製本費の予算額を縮小する。	△ 284
危機管理課	課内管理事業等による消耗品費の見直し	過去の実績を踏まえ、トナーの購入数を見直し、予算額を縮小する。	△ 48
防災課	備蓄品購入計画の見直し	過去の実績を踏まえ、備蓄食料等の購入数量を調整し、必要性の有無や新規購入品目を見直し、予算額を縮小する。	△ 4,918
防災課	消耗品購入計画の見直し	プリンタトナーの購入計画を見直し、予算額を縮小する。	△ 139
防災課	倉庫・標識等の年間修繕計画の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 728
防災課	パソコン保守管理費用の見直し	インターネットの接続を行わないことから、自課で管理することにより、予算計上を廃止する。	△ 328
防災課	申請組織数見込みの見直し	過去の申請実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 5,600

他3件